

編集後記

- 編集委員会にいるいろいろなことを学べて嬉しいです。今年も数学のグローバルスタンダードをつくっている団体の素晴らしさを知ったこと、教科書のこと、本の編集のこと、全国には数学を頑張っている高校生がいること。どれも素晴らしい経験でした。それにしても原稿を書き散らかしただけで何の役にも立っていない年寄りに優しい編集委員の皆様は大感謝!! そろそろ…かな? (A)
- 8月青春 18 きっぷで北へ。秋田竿灯祭り、青森ねぶた、そして北海道尾白内へ娘の旦那の実家まで行き、仙台の七夕を見て帰ってきました。2週間後は単車で大曲の花火競技大会へ。そこでは、雨とあまりの寒さに辟易しました。が、旅行中は読書が進んでよいです。 (U)
- 今回は、取材を多めにさせていただきました。インタビューも数学者の視点だけでなく、別な視点からの数学を知っていただけるかなと考えています。筑摩から出ている「記憶の切絵図」はちょっと感動しました。来年は通常の会誌発行をお休みいたします。 (O)
- 夏も終わると「全国高等学校クイズ選手権」という番組が日本テレビで放映されます。私も高校生のときに参加したので、毎年楽しみに見ているのですが…。今年はマニアックな知識を問う問題(元素記号をすべていえ等)ばかりで、すぐつまらなかった。ディレクターに「学習指導要領を読め!」と言いたいです。 (Sk)
- 数学が「できる・わかる・たのしい」と思ってもらえる教科になるよう、頑張ります。 (Sm)
- 今回はいろいろなところへ取材に行かせていただき、たくさんのお話を聞くことができました。特に、中学校の学習指導要領については、大変勉強になりました。ところで、肝心の高等学校の学習指導要領はどうなるのでしょうか? 気になるところです。 (T)
- 今後明らかになってくる、学習指導要領や高校入試制度の改訂について、まずは把握しなくては。そして、各学校における教育課程の改訂に着手しないと…。よい変更をしたいですね。 (Yk)
- 今回の編集に携わり、「数学は永遠の真理」とか「社会では数学ができなくてはいけない」などといった言葉があり、数学のよさを再確認しました。「何の役に立つのだろう」と思っている生徒は多いのかもしれませんが、きっと今学んだことが将来の財産になることを信じ、教えていきたいと思います。 (Ys)

$\alpha - \omega$ 第48号 原稿募集

お知らせ 『第64回関東都県算数・数学教育研究千葉大会』が、平成21年11月17日(火)に開催されます。次号・第47号(平成22年春発行予定)はその特集号となりますので、第48号(平成22年秋発行予定)の原稿を募集させていただきます。

内 容 教科(科目)に関する研究・授業等での実践報告
分 量 8ページ以内
申込締切 平成22年7月16日(金)
原稿締切 平成22年9月17日(金)
申 込 先 編集委員長まで申し込んでください。

なお、電子メール(math.edit@yahoo.co.jp)での原稿受付もしております。
詳しくは、数学部会 Web ページ(<http://sc2.ice.or.jp/math/>)をご覧ください。

$\alpha - \omega$ 第46号

平成20年10月27日印刷

平成20年11月11日発行

発 行 千葉県高等学校教育研究会 数学部会
発行責任者 数学部会長 中村 秀夫
事 務 局 〒292-0804 千葉県木更津市文京 4-1-1
千葉県立木更津高等学校内
電話 0438-22-6131(代)

印 刷 所 有限会社 宮坂印刷
〒263-0021 千葉市稲毛区轟町 1-8-16
電話 043-251-4537